

宮古盛岡横断道路「築川道路」開通!

～ 復興道路宮古盛岡横断道路で初めての開通～

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 道路建設課

平成 25 年 3 月 10 日、一般国道 106 号・宮古盛岡横断道路「築川道路」が開通しました。

平成 8 年の事業着工から 17 年。東日本大震災津波以降、復興のリーディングプロジェクトとして事業を加速させ、竣工を約 2 ヶ月前倒しし、震災から 2 年を前にしての開通となりました。

開通式は同日、盛岡市川目地内で開催。太田国土交通大臣、達増知事、谷藤盛岡市長をはじめ、国、県、盛岡市、宮古市、施工業者及び地権者等の関係者約 100 名が出席し、「築川道路」の開通を祝いました。

達増知事が「築川道路の開通で災害時の防災力強化や物流の効率化など大きな効果があり、本県復興に弾みがつく。」と挨拶し、その後、テープカット（表紙写真）及びパレードを行いました。パレードでは沿道に集まった約 60 名の地域住民と共に開通を喜びました。



達増知事式辞



開通を祝う地域住民。共に開通を喜びました!



築川道路 築川大橋上空写真

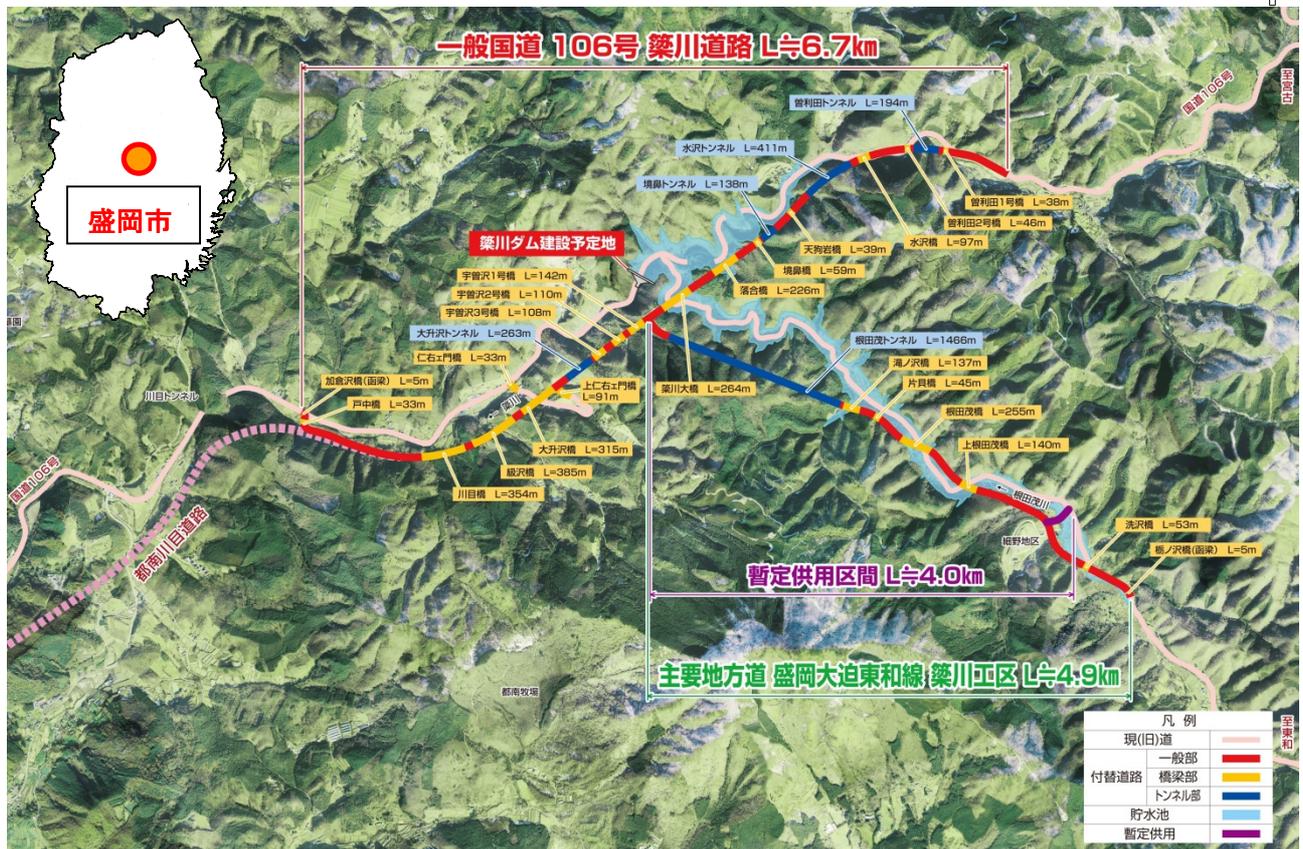
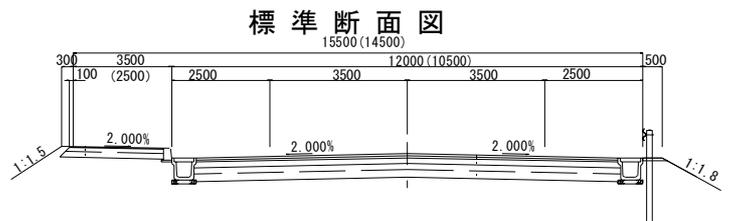
【「築川道路」の概要】

一般国道 106 号築川地区は急峻な谷地形の河川沿いにあり、地形的制約のため幅員狭小・線形不良であることから交通事故が発生しやすく、落石等の危険区間などでもあったことから、抜本的な改良が求められていました。そのため、平成 7 年 8 月に地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」の延長約 6.7km の区間が「築川道路」として整備区間に指定され、翌年の平成 8 年には、築川ダム建設事業の付替道路として事業着手しました。

県では、東日本大震災津波の発災後、復興計画において一般国道 106 号を復興道路に位置づけ、「築川道路」の整備を急ピッチで行って来ました。

今回、震災から 2 年が経過するのを前に、復興道路「宮古盛岡横断道路」として初めて開通したものです。

- 路線名： 一般国道106号
- 区間： 盛岡市築川～盛岡市川目
- 延長： 約6.7km(全線開通)
- 幅員： 車道 7.0m 歩道3.5～2.5m
- 主要構造物： 橋梁 14箇所 延長 約2.3km
トンネル 4箇所 延長 約1.0km
- 事業期間： 平成8年度～平成25年度



【おわりに】

今回、宮古盛岡横断道路「築川道路」の開通を迎えましたが、復興道路の大部分は、事業に着手したばかりであり、被災した沿岸を支援するための復興道路の整備はこれからが本番です。

今回の「築川道路」開通を弾みとし、復興事業を加速させるべく、なお一層、関係機関と連携して事業を進めていきます。